



佐賀県内工業系高等学校との進学懇談会を実施

【概要】

令和5年6月21日（水）に、佐賀県内の工業系高等学校の校長並びに進路担当者等10名と生徒11名が佐賀大学理工学部を訪問され、工業系高等学校と佐賀大学理工学部との進学懇談会が実施されました。

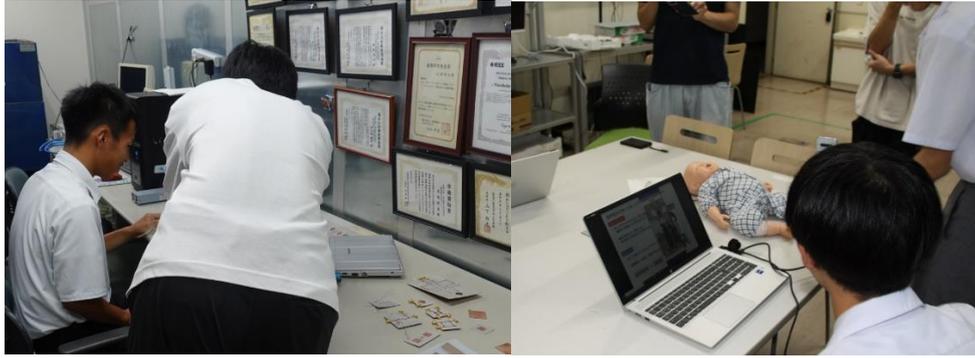
【本文】

令和5年6月21日（水）に佐賀大学理工学部1号館・地域連携デザイン工房において、令和5年度佐賀県内工業系高等学校と佐賀大学理工学部との間で進学懇談会が開催されました。本懇談会は、佐賀県高等学校教育研究会工業部会と理工学部とで取り交わしている高大連携に関する協定活動の一環として行われたものです。当日は、県内6つの工業系高等学校の校長並びに進学推進委員等9名と生徒11名が佐賀大学理工学部を訪問されました。生徒は、理工学部内の見学会に参加し、高等学校関係者は、理工学部長、副学部長3名、数理・情報、機械工学及び電気電子工学部門の3部門長との間で懇談会を行いました。

見学会では、生徒の希望に応じて3部門（数理・情報部門、機械工学部門、電気電子工学部門）に分かれて、最新の研究や実験設備の見学を行いました。数理・情報部門の見学では、スマートフォンを用いた母親の抱っこ姿勢診断システム、視覚暗号やセキュリティ、画像処理等の体験を行いました。機械工学部門の見学では、無響室の見学、吸音材の紹介や自律的に音声を分離し到来方向を同定する人工聴覚についての説明がありました。電気電子工学部門の見学では、無線通信及び無線電力伝送、半導体デバイス開発、電力システム制御、ロボット制御などの研究テーマの説明やアンテナ試作体験、自律走行型ロボットの実演等を行いました。

懇談会では、山崎 佐賀県高等学校教育研究会工業部会進学推進委員長と豊田 理工学部長の挨拶ののち、工業部会事務局の井原 教諭の司会により、それぞれの自己紹介が行われました。その後、工業部会事務局から事前に問い合わせのあった質問事項について、理工学部長及び関連部門長から回答がなされました。大学入試に直接関連した内容については個別の回答は差し控えられたものの、基本的にはアドミッションポリシーに照らしての対応となること、工業系高等学校の生徒が学習しておくべき内容や、日ごろの読解力と作文力を含めた国語の重要性などの回答がなされました。

最後に、工業系高等学校側から、佐賀大学の魅力を校長自らが、全校集会等で生徒に話すこと、ロボットの教育に力を入れること、国スポへの参加、工業高校の教師が不足していることについて話がありました。平成30年3月から継続する佐賀大学理工学部と佐賀県高等学校教育研究会工業部会との連携が今後も大いに期待されます。



見学風景



懇談会の様子